

秋田でスクラム



事業対象地域 秋田県秋田市・仲小路商店街

受託機関 株式会社スパイラル・エー

1

事業内容

実施目的

秋田市内で起業を希望する人材＝新たな商店主の育成に、商店街の既存の店舗主も積極的に参画する。その上で、3地区の商店街における連続性のある店舗形成、商店街組織における人材不足の解消、商店街としてめざすビジョンづくりを行う。

実施期間

平成 22 年 8 月 12 日 → 平成 23 年 2 月 21 日

スケジュール	2010年					2011年		
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	空き物件の情報収集とデータベース構築							
	●既存店舗及び起業家への協力依頼							
	既存店舗及び起業家へのヒアリング							
	●検討会企画策定と参加者呼びかけ							
	●起業人材の公募、本事業の PR (web、ポスター等の作成準備)							Web サイト「パノラマクリエイション」運営
	第 1～3 回「情報集約・提供の仕組みの為の検討会」実施●							
	第 1～3 回「新たな商店主の活動展開のためのワークショップ」実施●							

実施内容

地域における起業・店舗継承のための仕組みづくり

- 1 情報集約・提供のためのデータベース作成
- 2 既存店舗・起業家へのヒアリング
- 3 Web サイト「パノラマクリエイション」運営
- 4 「情報集約・提供の仕組み化のための検討会」実施
- 5 「新たな商店主の活動展開のためのワークショップ」実施

上記の事業を行うために以下の 4 者で実施体制を組んだ。

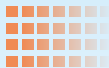
団体名	役割・得意分野など
広小路振興組合	中心市街地商店街連絡協議会の発足・事業運営協力など
仲小路振興会	中心市街地商店街連絡協議会の発足・事業運営協力など
NPO ほっとアートあきた	人材教育・文化創造活動支援など
株式会社スパイラル・エー	事業運営・本部拠点の管理運営など

実施体制

2

育成計画実施における状況

こぢんまりした飲食店、雑貨店などが並ぶ「仲小路」。情緒あふれる公園に面した「広小路」。オフィスビルが林立する「中央通」。印象の異なる3つの通りが連絡協議会の発足に向けて動きだし、新たな店主の誕生に期待を寄せた。



連絡協議会の誕生に向けて

秋田市中心市街地の界隈全体としての商業店舗の集積、地域の賑わい、コミュニティ形成による界隈全体の商機能の再生と価値・魅力の向上を、連絡協議会の発足を契機に図っていく。

●「中心市街地商店街連絡協議会」（仮称）発足検討会議

広小路振興組合会長・事務局員、仲小路振興会会長・仲小路振興会会員と NPO ほっとアートあきた、株式会社スパイラル・エーの関係者7名が集まり、広小路振興組合、仲小路振興会を組織統合することで中心市街地商店街連絡協議会を発足させ、人員・予算面でのエンパワーメントを図ろうと

する試みの検討会を開いた。

この会議で、「新たな店主育成プログラム」の概略、日程などの説明を行い、対象エリアとなる広小路・仲小路・中央通と連絡協議会の参加エリアが共通していることから、育成プログラム事業の実施に対する協力を願った。

●運営本部視察

エリア全体の担い手＝新たな店主の誘致、育成に役立てていただけるよう改めて提案したのち、仲小路ビル地下1階にある「シェアオフィス Mag」の見学会を実施。育成プログラム事業の本部・事務所、会議室となる場所であることを紹介し、連絡協議会の拠点としても利用いただけるよう打診した。

発想・創造のプラットフォームをめざして

シェアオフィス Mag & ギャラリー Mag



単に空間や仕事を共有するだけでなく、学びも遊びも全力で取り組み、入居者と街を行きかう人々にとってヒラメキ、ワクワクの原動力となるプラットフォームでありたい、との考えから誕生したのが「Mag」である。



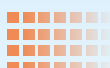
「シェアオフィスMag」と「ギャラリーMag」のある仲小路ビルは、JR秋田駅から徒歩10分の中心市街地に建つ。築40年の物件を地元のクリエイター、ビルオーナーと東京のデザイナーが共同し、外観も含めて本格的なリノベーションビルとしてリニューアルした。今回の事業事務所のほか、飲食店3、ショップ・理美容室各1と地下のクリエイター専用シェアオフィスには各業界の6社が入居している。

3

目標に対する成果

秋田で起業して、新しい担い手になりたい…若い人材の情熱に応えるために、さまざまな支援情報を収集・分析していくことが何よりも重要と考えた。その取り組みの結果として、対象となるエリアでの新規開業、移転オープン4件の実績につながった。

アウトプット



収集・提供の仕組みづくり

事業の対象となる3つの商店街エリアへの開業を促進するとともに、エリア全体の活性化をめざす各種情報(空き物件、店舗づくりにあたってのサポート業者リスト、モデルとなる先輩地元起業家リスト)を、継続的に収集・提供するしくみづくりを行った。

対象エリアでの新規起業誘致(目標5店舗以上)

次の店舗、企業などが開業し、新たな商店主・担い手としての一歩を踏み出した。

● 麺屋「東風」(アジア料理店)

平成22年9月開業

● 株式会社アンド・アッシュ(イベント企画運営)

平成23年5月開業

● アースボイスプロジェクト(映像制作会社)

平成23年5月、仲小路通に開業

● 池田絵画教室

平成23年6月、中央通に開業

情報発信・サポート

秋田市内での起業・開業をめざす人材を支援する情報のひとつは、空き物件情報。今回の事業対象となる3つの商店街エリア物件の立地・外観・間取り・設備などを詳しく紹介したWEBサイト「パノラマクリエイション」を開設した。問い合わせフォームも設けて迅速な対応を行っている。

もうひとつは、さまざまな分野の専門家によるサポート情報である。店舗設計・施工、販促ツールデザイン・制作、ホームページ作成、映像・CG

新規開業事例

トシフウ
麺屋「東風」

オーナー 細部元樹さん

気概のある人と一緒に
新しい街を創っていただけたら最高

店名はベトナムから吹く風をイメージしている。秋田に東南アジア系の料理を楽しむ文化も定着させてみようではないかと考え、秋田駅前のお話づくりにも微力ながら貢献できれば、という思いもあって開業した。

秋田で唯一「フォー」を提供。日本人でも食べやすいようにアレンジしたメニューと、あきたこまち100%の麺を使って地域性にこだわっている。

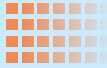
「自分から変えてやる! くらいの気概を持った人と一緒に、秋田駅前に新しい街を創っていただけたら最高ですね。お互いに刺激し合いながら、秋田駅前を変えていきましょう。」と語る。



L字型のカウンター。
2階の窓からは仲小路が眺められる。

制作のほか、会計士・税理士事務所が得意とする業務、サービスをアピールしている。司法書士・行政書士の情報発信も準備中だ。

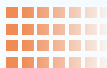
アウトカム



商店街の体制づくり

対象となる地域に点在する店舗開業～経営のためのさまざまな情報の集約・提供構築により、起業希望者の誘致、支援に取り組める商店街の体制づくりが充実。市内のほかの商店街に対する体制づくり、ノウハウの提供と共有による波及効果が見られた。

また、事業の対象エリアに新規開業者を募集し、サポートする情報集約サイト「パノラマクリエイション」を開設した。



「新たな店主の活動展開のためのワークショップ」

起業予定者がトークセッションに参加をしたことで、秋田市中心市街地で新たに店舗・オフィスを開く際の既存空き物件の活用方法について学び、自らの開業の際のアドバイスを受けるまたとない機会となった。

また、トークセッション第2回目に参加したゲストスピーカー、シブヤ大学が対象エリアを拠点として平成23年から「秋田版シブヤ大学」を設立す

ることになった。トークセッションが、シブヤ大学関係者と秋田市中心市街の商店会との相互交流、情報交換の場としての一翼を担う形となった。

【えきまえ・オフィス・クリエイション! 1】

2月16日 18:00～19:30 会場：ココラボラトリー

仙台卸センターホテル跡をリノベーションしたクリエイター向けシェアオフィス「TRUNK」から間澤広輔さんを迎え、ディスカッション。

【えきまえ・まなび・クリエイション! 2】

2月17日 19:00～21:00 会場：シェアオフィス Mag

「シブヤ大学」の学長左京泰明さんをゲストに迎え、トークセッション開催。

【えきまえ・情報・クリエイション! 3】

2月19日 19:00～21:00 会場：シェアオフィス Mag

街を刺激すること、クリエイター自身が刺激を受けることを目的に掲げるタウンガイドサイト「仙台デパートメント」の菊地正宏さんをゲストに迎えた。

【パノラマクリエイション!“MaGaRi”と“Teco”の原理】

2月20日 13:15～16:45 会場：シェアオフィス Mag

中心市街地の再開発が進む中、このエリアでポジティブに楽しく街に関わったり、商う手法と視点について考えた。

新規開業者のためのポータルサイト

パノラマクリエイション



「さあ、秋田駅前で開業しよう! 仲小路、広小路、中央通に新規開業の方を応援します。」をコンセプトに掲げているのは、WEBサイト「パノラマクリエイション」。新規開業にともなう場所の選定、支援機関への相談や宣伝ツールの準備など、新たな店主・事業主の負担を少しでも軽くできたら…という思いから誕生した、いわば“新規開業者のためのポータルサイト”である。



4

支援協力機関が果たした役割

仲小路、広小路、中央通の3つのエリアがまとまって中央街区連合商店会をつくり、連携していく…近い将来に実現する可能性を、“イメージの上での合併”という形で示した情報発信サイト「パノラマクリエイション」。多くの関係者との交流から実感させてくれた。

対象地域、商店街へのヒアリング

わたしたちは基本方針としてイベント等での人と人とのふれあいを大切にしたい商店街づくりに取り組み、千秋公園などの地域資源、美術館などの文教施設を活用した歴史、文化の息づく空間づくりをめざしてきた。しかし、ひとつの商店街だけでは限界があるので、仲小路、広小路、中央通の3つのエリアがまとまって中央街区連合商店会をつくり、連携していきたい。

郊外の新興地にはないユニークな店主が増えて、個性を生かした魅力的なエリアが形成できればと考えていたところ、今回のプロジェクトの話を知った。現状では、商店街組織の合併はすぐには容易ではないが、「パノラマクリエイション」という情報発信サイトができたことで、イメージの上での合併に可能性を感じた。これを機に、3つのエリアのイメージをこのサイトを使って打ち出していければと考えている。

勉強会を通してこれまで会ったことのなかった新しい店主の方々と交流でき、今後は仲小路などエリア内で開催していくイベントの企画運営に関する具体的な話が聞けてとても参考になった。個店としても既存の財産やすきま空間を活用した新しい企画（屋上菜園など）についても積極的に考えてみたいと思った。また、秋田の場合は作家も多いので、「新しい作家を紹介しつつ、アート、デザイン、食も含めた展開の仕方ができればうまくいくのではないだろうか」というTecoLLCの立木代表の話は具体的で非常に分かりやすかった。

(仲小路商店街振興組合会長 新開仁さん)

まとめ

本育成プログラムにおいて効果的であった面

エリアの現状と特性を再検証し、多角的な視点から各属性にあわせてターゲットを絞ったプログラムを導きだした。店主だけでなく行政関係者、エリア内のクリエイターや不動産業者など個人事業主との新たな関係性を発見し、それがエリアの活性化に寄与するしくみについて具体的なビジョンを互いに検討することができた。

改善点

属性によってプログラムへの参加条件（参加できる時間・曜日）が異なるため、開催日程・時間帯を定めることが難しかった。効果的な周知の方法についても検討の余地がある。

参加できなかったエリア内の店主向けに、勉強会の模様をVTRに収録・データ化した。ビデオ勉強会を開催してより多くの店主の育成につながるように努めていきたい。

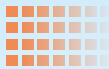
連携のなかった3地域にまたがる事業であったため、情報周知のシステムが整っておらず苦労した。3地域の連携をさらに検討し、その関係者すべてに情報が行きわたるシステムを確立したい。

対象となる3エリアの調整・リサーチに時間がかかり、勉強会のスケジュールがタイトになってしまった。エリアの今後の活性化に向け、具体的なプランづくりに直接参考になるプログラムを実行することができたが、余裕のある運営日程の立案が課題となった。

5

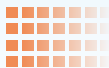
地域、商店街が活性化に向けて果たした役割・活動の報告

今回のプログラムから、空きテナント契約3件、平成23年4月以降の開業予定者3件、さらに、口コミでこの事業を知った開業を希望する商店主候補者4名からの相談も受けている。



契約・開業・相談

新規開業をはじめ、広小路振興組合が移転・オープン、さらにガラス体験工房ショップの開業を希望している「とんぼ玉 HOWL」のほか、建築事務所トリノス、カフェを開業したいなど計4名からの相談を受け付けた。



「空き物件情報サイト」の構築

秋田市、秋田商工会議所のWEBサイト上で運営されていた空き店舗情報の連携を提案。空き

店舗情報と両者サイトに相互リンクをはること、さらに両者の助成金情報とも連携することになった。また、両者が平成23年度事業で空き店舗対策助成金事業、空き店舗対策情報サイトの強化を予定しているのを受けて、本事業との連携策について協議していくことになった。

対象エリアの商店主から、空き店舗情報、対象エリアのビジョンや都市計画の変遷に関する資料が集まり、広小路、仲小路、中央通の連携の体制ができた。また、エリア内の新旧商店主、行政担当者、クリエイターなどの横のつながりが生まれた。

6

新たな課題とその対策について

空き物件情報の効率的な収集、WEB発信の仕組みを構築すること。そして、秋田駅前中心市街地開発に伴うエリア内の人口増加をめざした事業展開（商店主、オフィス、居住者）などが急務になった。



課題

空き物件情報を効率よく集め、迅速にWEBに掲載するための恒常的な仕組みの構築と、エリア内の人口増加をめざした事業展開（商店主、オフィス、居住者など）、秋田駅前中心市街地開発による新しい商店主の予測に対して、既存の商店街ネットワークでは対応が追いつかず、機能不全をおこす可能性がでてきている。



対策

まず、地元の方との普段からの交流により、情報が自然と集まってくるための関係構築が欠かせない。1階の路面店舗づくりに加え、建物内部2、3階部分を含めたMagの活用方法の提案（オフィス利用など）や、新しいネットワークを形成するためにWEBサイト「パノラマクリエイション」、平成23年春より秋田で活動展開を始めたシブヤ大学を活用した連携提案も進めたい。



・広小路商店街振興組合・仲小路振興会・秋田市まちづくり整備室・秋田市商工労働部
 ・秋田商工会議所・有限会社榎竹不動産・秋田県副知事・秋田県県民文化政策課・秋田市都市整備部・秋田銀行南通り支店・仲小路ビルオーナー・新秋田県立美術館民間コーディネーター・秋田市千秋美術館・シェアオフィスMagメンバー・仲小路振興会所属店舗経営者・まちのえき秋田/まちかど情報局ぶらっと・秋田経済新聞